

e-dream-s通信

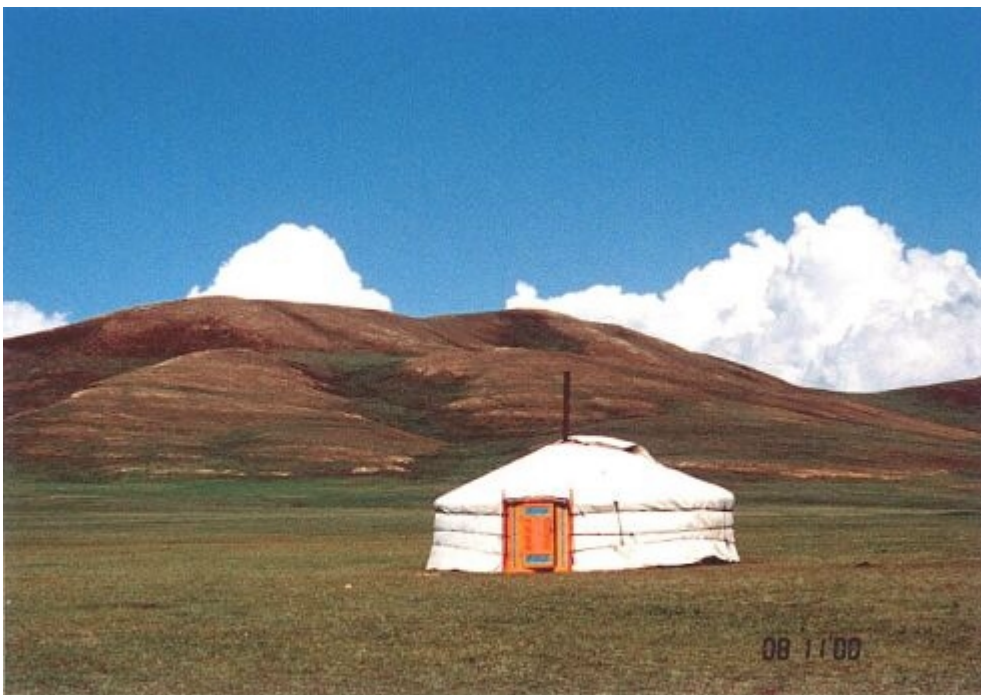
e-dream-s ホームページ <http://www.e-dream-s.org>

No.24 発行：2002年6月9日特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

目次

1. スーパーマーケットはスーパーか 辻荘一 p.2
2. 初夏に思う！ 井川好二 p.3
3. 幸せな瞬間 中川房代 p.5
4. 持つべきものは友達 飯田佐恵 p.6
5. 念願かなって...e-dream-s ホームページ担当より 田辺恵美 p.7
6. 「ののちゃん」 中川房代 p.9
7. お知らせ p.10

教育用フォトアーカイブズ @aglance より (2000/8 - 中川房代 撮影)



ウランバートル郊外
朝の草原の風景。写っているのは牛と山羊。

© e-dream-s

@aglance で「草原」で検索すると 23 件ありました。蒸し暑いこんな季節には爽やかな草原の写真をどうぞ。

スーパーマーケットはスーパーか

辻 荘一

出来た当時はスーパーマーケットというのはスーパーなマーケットだったのだ。何がスーパーかという、八百屋・魚屋・肉屋と回らなくても、必要なものは何でも揃うし、綺麗だし、人件費も少ないから安い。見て回るだけでも楽しい。商品は小分けにして綺麗にパックしてある。一々店員に断らなくても商品を手にとって見られる。お金もレジでまとめて払えばいいから簡単だ。これは今までなかった。素晴らしい、全くスーパーだ。というわけでスーパーマーケットだったのだ。

@aglance も画像の数が1万枚を越えるころにはスーパーな写真サイトになる。あちこち回らなくても必要なものは何でも揃うし、綺麗だし、簡単だ。いろいろな写真サイトを回らなくてもここに来れば何でもある。画像を楽しく見て回りながら、必要なものをゆっくり選ぶことも出来るし、検索エンジンで見つけることもできる。画像の大きさは同じ規格で揃えてあるし、丁寧な説明文付きだ。これは素晴らしい、全くスーパーだ。というわけでスーパーな写真サイトになる予定だ。

一方スーパーマーケットは、いまや珍しくもなともないので、安さに加えて、内容勝負になっている。産地直送、品揃え、ポイントカード、色々工夫している。商品の並べ方も、単に魚なら魚コーナーというように分類しておくだけでなく、カレーが特売なら、そばにジャガイモとニンジンも置く、珍しい食材には料理法も表示すると言った工夫もある。世の中アイデア一つで生き残れるほど甘くない、日々の工夫が命である。

写真の収集もPR活動も順調に進んでいて、@aglance は飛び抜けた写真の数を持つ教育用写真サイトになるのは確実だ。アクセス数も格段に増えるだろう。「スーパー」な教育写真サイトになることは確かだが、それはまだ珍しかった頃のスーパーマーケット程度の「スーパー」だ。本当のスーパーになるには、まだまだ工夫が要る。その一つはスーパーマーケットでカレーのそばにジャガイモとニンジン、料理法の表示があるように、授業に使いやすい形で写真を提供することである。

現在計画中のプロジェクトは、スライドショー制作である。何枚かの画像を一つの流れになるように組み合わせ、日本語と英語の説明文をつける。英語には音声ファイルもつけて、画像をスライドショーで見せながら英語音声も聞くことが出来るようにする。アメリカのハロウィーンの過ごし方、モンゴルの羊の食べ方、世界のゴミ箱な

ど組み合わせは無敵大である。教科も社会科、総合的な学習、地理、家庭科、国語それにももちろん英語と利用場面も多い。

このように画像数・適切な説明文・優れた検索エンジンに加えて、使い方の提示と、使いやすい形での提示をすることが、次のステップだ。スライドショー以外にも様々な工夫があるはずである。日々の工夫が大事なのはスーパーマーケットも教育用写真サイトも同じ。e-dream-s の会員には是非いろいろなアイデアを出して欲しい。@aglance がスーパーな写真サイトから、超スーパーなサイトになるためにね。

e-dream-s.come.true

初夏に思う！

井川好二

6月も未だ初めだと云うのに、こう毎日30度を超える暑さが続くと、これからが思いやられる。昼間は汗かき汗かき、クラッシュド・アイスがたっぷり入ったカフェ・ラテが恋しくて、冷房の効いたコーヒー・ショップを探す。夜は、とりあえず、生ビールに枝豆の、シンプルが至福。

昔の初夏が、もうちょっと過ごし易かったように思うのは、ノスタルジーではないのだろう。

地球温暖化はやはり、21世紀のリアリティだったのだと、認識を改める今日この頃である。ヒマラヤの氷河が何キロも後退したと聞く。暑苦しい都市生活の徒然に、高層ビルの向こう、緑の高原を夢見たり、淀んだ運河に照り返す陽射しに、珊瑚礁の海が懐かしい夏が来た。今年も早い夏が来た。

最近のニュースによると、トヨタは、中国で現地自動車メーカーとジョイントベンチャーを設立し、今後現地で需要の見込める高級車の生産を、2005年から本格的に始めると云う。本田は数年後を目処に、中国における自動車の生産台数を、年間30万台に拡大すると云う。暗い話の多い日本経済にとって、嬉しいニュースには違いない

が、果たしてそうか？

人口推定 12 億の中国は、巨大なマーケットである。日本の 10 倍の規模である。この潜在的な市場に少しでも早く進出し、将来の地盤を築きたい日本企業の意図はよくわかる。遅れを取りたくない企業論理はよくわかる。しかし、中国 12 億の、例えば、半数の人間が車を持つようになれば、そのガソリン消費量はどの程度か？道路の建設はどれほど必要なのか？それが地球温暖化をどれほど加速するのか？

毎年、春風にのって大陸からやって来る黄砂は、朝鮮半島や日本列島を重苦しいベールで包む。これも年々ひどくなる。車のボディやウインドウに、細かい砂が降り積もる。しかし、黄砂の大量飛来が、中国の砂漠化の拡大の証左であることは云うまでもない。中国で車が増えれば、砂漠化の進行に拍車がかかるのは間違いない。

中国で車を売ってはいけないと云うのではない。車が売れる背景と、その影響を忘れてはならないと云いたいだけである。

1997 年の京都議定書も、先月発表された EPA (米国環境保護局) の警告も無視して、ブッシュ政権には地球温暖化問題に対策を講じる気配は、さらさらないのである。アメリカ合衆国が、世界の温室効果ガスの 25% を排出しているにもかかわらず、である。

何もしないでじっと批判の嵐が去っていくのを待つかに見えるブッシュ大統領の姿を、International Herald Tribune (IHT: July 7, 2002) は、頭を砂に突っ込んで危険を回避する駝鳥に例えている：“Bush’s head in the sand.” しかし、砂漠の砂はどんどん熱くなっていくのだから、ブッシュ駝鳥はいつまで耐えられるのだろうか、IHT は揶揄する。

ブッシュが地球温暖化対策に、敢えて消極的であろうとする理由は、いくつか考えられる。まず、米国内産業の保護。Greenhouse Effects (温室効果) を起こすと云われる二酸化炭素、フロン、メタン、亜酸化窒素などの排出量を規制すれば、国内産業は過大な負担を強いられることとなり、アメリカ経済の破綻に繋がる可能性がある。

車の排気ガスを規制すれば、不況にあえぐアメリカ自動車産業の競争力は一層低下し、日本車を中心とする外国車にますますシェアを奪われる。世界の経済を牽引するアメリカ経済を、展望なき消耗戦に引きずり込むことは避けたい、とブッシュは考える。

次に、その排ガスの元、石油である。ブッシュが、アメリカの油田地帯テキサスに地

盤を持つ政治家であることは、周知の事実。石油消費の将来に、悪影響を及ぼしかねない。地球温暖化対策に加担することは、ブッシュの政治生命を危うくする可能性があるのである。もっと、穿って考えれば、サウジアラビアをはじめ大産油地帯であるアラブ諸国を、今ブッシュは敵に回したくないのだろう、とも云える。

世界は繋がっているのである。どうしようもなく繋がっているのである。

そのどうしようもない繋がりの中に、大阪の6月の猛暑もあるし、ブッシュ駝鳥もいるし、カフェ・ラテの救いもあるし、生ビールの至福もあるのである。

教育改革をめざす e-dream-s は、環境問題に直接取り組む NPO ではないが、そうした世界の繋がりの中に、自らを位置づけなければならない。環境問題が深刻化する時代の教育は、こうあるべきだと提案する必要がある。世界がいびつな相互依存関係に、歪んでいく時代の教育は、こうあるべきだと提唱する使命がある。

暑い初夏に、頭を冷やして考えよう！（Saturday, June 8, 2002）

幸せな瞬間

中川 房代

e-dream-s の活動のおもしろさにはいろいろあり、人によっても違うと思うが、私の場合、その1つに普段の生活ではすることの少ない体験ができることがある。私は中学校の教師をしているので、学校の外に出て様々な職業の人たちと出会いつながっていくことにおもしろさを感じている。自分の知らなかった新しい世界を垣間見ることができるのも楽しみの1つである。

役職柄、大阪府庁や税務署などの官公庁に手続きに行く機会や会場の予約や打ち合わせをする機会も多い。先日は広報活動の1つとして、写真アーカイブを宣伝し記事にしてもらうために、代表理事と広報担当の辰己さんと私の3人で新聞記者と会い話をしてきた。

そんな時、どんな言葉で訪問や電話の目的を簡潔に伝えるのか、どう自分たちの活動

を表現し伝えるのか、相手に理解してもらうにはどうしたらいいのか、何を準備していけばいいのか、相手からどんな情報を引き出すのか、などを考える。これは教師にとっても必要な要素であるが、特に学校外に出たときには誰にでも理解してもらえる言葉で説得力のある話ができないといけなと感じる。複数で訪問すると、同行した人がどう話すのかも勉強になる。緊張もするし、失敗も多々あるが、楽しみでもある。楽しんで仕事ができるのは幸せだなと思う。

今後、写真アーカイブをもっと充実させていきたいし、広報活動に限らず、もっと宣伝活動や営業活動にも手を広げていきたい。自分たちのしたいこと、社会が要請していること、自分たちのできることを、考え、つき合わせながら、6月末の理事会に向け、今後の方針を論議していきましょう。

持つべきものは友達

(大阪) 飯田佐恵

昨年の春、イー・ドリームズが事業の一つとして「教育フォト・アーカイブ (@aglance) を始めよう」と決まり、とりあえず、会員が中国、モンゴルの写真を持ち寄ることとなった。さて、自分のアルバムを開いてみても行ったことの証拠写真というか記念写真が多くて私には提供できるものはほとんど無かった。

そこで、私は友人の松永裕子さんに彼女の中国旅行の写真をお借りできないかと尋ねた。彼女は自分のものはあまり大したものはないと言って、わざわざ、その旅行で一緒だった筒井敏夫さんと柿原和宏さんから写真を借りてきてくれた。

数か月後イギリスの写真を集めることになり、東本幸子さんと松永さんが貸してくれることになった。(残念なことに何かの行き違いでこの二人の写真の掲載が遅れているが。)

9月には各会員に「教育フォト・アーカイブ」事業を推進するべくタスクが与えられた。私は写真の収集を受け持った。「目標数は1,000枚で、プロの写真も集めるように」との御達しだった。この時もまた松永さんの紹介で、写真の個展を何度も開いておられる photographer の佐橋壽郎さんから写真の提供をお願いすることができた。

次にお世話になったのが高校時代の同級生の C. I. さんだ。2002年2月のイタリアとフランスのカーニバルの写真を貸してもらった。彼女の希望で @aglance 上ではすべて飯田佐恵の名前で掲載させてもらっている。

年開けて、いよいよ「4月には@aglance を一般公開する」ということになった。まだまだ私は自分のノルマを果たしていない。画廊や写真展に一人で出かけて直接交渉するのも億劫だなと足踏みばかりで時は過ぎていく・・・。

そして4月の終わりのこと、中学時代の同級生が舞踊の名取になったのでそのお祝いに10人位集まった。そこで村井紳浩さんにイー・ドリームズの話をした。「去年、北欧へ旅行した写真が「yahoo」の「briefcase」に載せてあるので、見て良かったら使ってくれたらええで」と言ってくれた。先週から今週にかけて@aglance にアップされている北欧シリーズは村井さんが提供してくれた写真だ。その村井さんの写真が@aglance に載ることの宣伝をかねて、中学時代の同級生仲間にイー・ドリームズのホームページを紹介したら、「イー・ドリームズの活動に感心しています。私にできることがあれば言ってください」と別の協力をしてくれそうな人も出てきた。

友だちってほんとうにありがたい。みんな快く協力してくれるのがとてもうれしい。私がこんなやさしい友だちの気持ちに応えるには、イー・ドリームズの活動に一生懸命取り組むしかないかな。

念願かなって・・・e-dream-s ホームページ担当より

田辺恵美

ここ数ヶ月間、ずっとできなくて悩んでいたことがありました。早くしなければいけないと思っていても、なかなか落ち着いて取り組めず、日々しなければいけないことに追われてしまっていたのです。それは・・・ホームページの韓国語版の作成でした。

翻訳を担当してくださったのは、張さん。飯田理事のお知り合いの方です。私も一度、e-dream-s のパーティーでお会いしたことがありますが、すらりとした素敵な方で、日本語がとても堪能であったことを覚えています。

実は、今回の韓国語版完成までには、とても長い道のりがありました。まずは、韓国語版の原稿をフロッピーでいただきました。そのままでは、私の PC で文字化けしてしまう(不思議な漢字表記になる)ので、まずは、ハングルソフトをインストール。日本からでも誰もがハングルを読むことができるように、画像処理をしてホームページに載せることを考えました。原稿を紙に印刷し、スキャナーでとりこみ画像にしたものをもとに、ホームページ用の HTML ファイルで韓国語のページを作成します。そして、サーバーに送ってアップロードします。ようやく完成と報告のメールを送りま

した。

ところが・・・。「文字化けして読めません。」との返事。どうして???

それもそのはず、実は、大変恥ずかしいことですが、私は文字化けしていた（不思議な漢字表記になっていた）のも知らずに、「ハングル文字は漢字表記もあるのかなあ。」と思い、そのまま画像処理していたのでした。（穴があったら入りたい気持ちです。）

気を取り直して、今度こそはハングル文字で画像処理、そして無事、アップロード。

ところが、張さんから、ところどころ文字化けしているとのことのお返事。とともに、新しく作り直してくださったファイルも送っていただきました。張さんは、個人でもホームページを作成されているとのこと、見ると、今回はそのままアップロードできるように HTML のファイルで作成してくださったのです。作成していただいたファイルをどうすれば生かすことができるかと、高力さんに相談したところ、インターネットのサイト上のハングルのページは、私たちでも意外と簡単に見ることができることを教えていただきました。

以下、ホームページ韓国語版の表示のさせ方を書きますので、是非、ご覧ください。

Windows をご使用の方

- 1 . トップページの KOREAN のボタンから韓国語のページへ
- 2 . そのままでは文字化けしていますが、その画面のまま「表示」の「エンコード」から「韓国語」を選択する。

私は Windows98 を使用していますが、Win2000 や XP でももちろん OK です。また、それ以外の Windows も Microsoft Global IME 5.02 for Korean With Language Pack をマイクロソフトから無料でダウンロードすれば、インターネットはもちろん、メールやワードでもハングル入力まですることができるそうです。

Mac をご使用の方

購入時に付属している CD-ROM に表示ソフトが入っていますので、それをインストールすれば OK です。

これで、e-dream-s のホームページには、英語版、中国語版、韓国語版のページができました。e-dream-s の活動のひろがりを見ると、海外からもアクセスできるサイトにするには不可欠です。まだまだ不十分ですが、今回の韓国語版の完成でホームページも一歩前進させることができました。

念願の韓国語版が完成した今、とても晴れやかな気持ちで一杯です。張さんには、

貴重な時間を費やして、韓国語のページ作成に取り組んでいただきました。この場をかりまして、不手際で時間がかかってしまったことへのお詫びと、私たち e-dream-s の会員一同よりの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

「ののちゃん」

中川 房代

e-dream-s は、第 4 回理事会の決定を受け、「マスコミ・ウォッチ・プロジェクト」を行ってきました。

具体的には、2000 年 12 月 22 日と 2001 年 1 月 10 日の 2 回、朝日新聞朝刊紙上に掲載された「ののちゃん」のマンガに対して、女性差別につながる、学校教育への現状認識がないとの理由から、ACROSS との連名で 2 度わたって公開質問状を送りました。

その質問状に対して朝日新聞広報室から回答を得ましたが、内容は満足のものとはいえませんでした。(詳細は e-dream-s のホームページをご覧ください。)

ところが、先日 6 月 5 日(火)の朝刊にも同様の内容でのマンガの掲載がありました。(右を参照)

「オニー」「アクマー」「さっさとヨメに行けー」と、前回、前々回と同じせりふが書かれています。私たちとして、どういふアクションを起こしていくべきか考えていきたいと思ひます。



お知らせ

<カメルーン学習会>

先日、SAVVY（大阪）でマレーシア学習会を行ったところ、参加されていたカメルーンの外交官 Pascal Dejoli Mbogning氏より、是非自分もカメルーン学習会をさせてもらえないかという申し出がありました。カメルーンの話のカメルーン人から聞ける機会は、なかなかないのではないのでしょうか。彼の帰国が間近ですので、日がないところを、井川先生に無理を言い、以下の企画で実施したいと考えています。皆様お誘い合わせの上、是非、おこし下さい。

記

- 1 日時 2002年6月14日（金）午後7時40分～8時40分
- 2 場所 肥後橋 Temple大学（肥後橋YMCA 8F）
- 3 内容 カメルーンの概要と、教育について
- 4 スピーカー カメルーンの外交官 Pascal Dejoli Mbogning氏
- 5 参加費用 1,000円/人

6 その他 学習会終了後、「食事会」（イタリアン）も考えています。食事会では、Pascal氏の高校設立希望についても話を聞きたいとも思っています。

尚、Temple大学で行われている井川先生の講座（6時40分から8時40分）の半分をこの学習会にあてることになっています。この取り組みは、Temple大学、e-dream-s国際部協賛で実施したいと考えています。

恐れ入りますが、参加ご希望の方は、6月12日（水）までに、山田に御連絡ください。Temple大学で井川先生の講座をとっておられる方は、学習会の出席の有無は結構ですが、食事会の御出席の有無をお知らせ下さい。また、御質問等ありましたら、山田まで、よろしく願います。<連絡先： 山田昌子（e-メール： yamada@e-dream-s.org）>

参考

ちなみに・・・

Pascal氏は、昨年10月に来日、国際交流基金の関西国際センターで、日本語研修を受けておられ、6月20日には帰国されることになっています。たまたま山田の勤務

校で国際理解教育講座の講師のひとりとして御招待し、仲良くなりました。
e-dream-s通信(2002.2.)に「私の欲張りな、新たな夢」というタイトルで彼の話を書かせていただいていますので、記憶に新しいのではないのでしょうか。

< e-dream-s 第8回理事会 >

日時：6月29日(土)～6月30日(日) 1泊2日

6月29日(土)

14:30	ホテル・モアナコースト集合
15:00-17:30	討議1(昨年度の総括と今年度方針について)
18:00-	夕食

6月30日(日)

-9:00	朝食
9:00-11:00	討議2(今年度の方針について)
12:00	解散

会場：リゾートホテル・モアナコースト
徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂186-16
tel.088-687-2255 fax.088-687-2290
<http://www.moana.co.jp/moana/moana.html>

議題：2001年度事業総括、2002年度計画について 他

宿題：写真アーカイブ@aglanceの充実に貢献できるタスクを1つ以上考え、理事会に企画書を提出

< e-dream-s第4回定時総会 >

日時：8月23日（金）18：00-21：00

会場：ホリディ・イン エクスプレス 大阪うつぼパーク
（大阪市西区靱本町2-2-20）

18：00より定時会員総会、引き続いてパーティ形式の食事会を行います。

編集後記

今月から、隔月で e-dream-s 通信の編集を担当することになりました。初めてのことで、お見苦しい点がありますが、どうかご容赦ください。慣れない作業は、「あれ、さっきのファイルどこいったけ？」「これは、ここじゃなくて次のページにペーストするつもりだったのに、、、」と単純なことでも以外に時間をとってしまいました。

現在、私の勤務校には 12 名の学生が教育実習を行っています。彼らが慣れない手つきでプリントを配ったり、出席簿に記入するのに手間取ったりしているのを見ると、「時間ないんだけど、、、」という言葉が思わず心をよぎることがありますが、今回、自分自身が慣れない作業をする機会をいただいて、来週はもっと優しい目で彼らを見ることができようと思っています！（塚本美紀）